



園芸専用暖房機

## 取扱説明書 RA-2501

- このたびは、園芸専用暖房機・蘭をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
- 取扱説明書はご使用になる人がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。



**危険**

ガソリン厳禁  
火災の恐れあり

**注意**

水かけ禁止 直射日光禁止

正しく使って 上手に節約

# 蘭

## 目次

### ご使用前

△安全のために必ずお守りください……	1~4
設置場所の選定……	5
各部のなまえ……	6
使用前の準備……	7~12

### 使用方法




運転開始……	13
運転停止……	14
室温の調節……	14

### 点検・その他

点検・手入れのしかた……	15~16
保管のしかた(長期間使用しない場合)……	17
異常のお知らせと処置方法……	18~20
アフターサービス……	21
部品交換について……	21
定期点検のおすすめ……	22
仕様……	22
別売部品のご注文について……	裏表紙

# 安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の3段階に区分しています。

 <b>危険</b>	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険、また火災・やけどの危険が高いと考えられる場合
 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性、また火災・やけどの可能性が考えられる場合
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が考えられる場合、また物的損害のみの発生が考えられる場合

本文中のマークは、次の意味を表わします。  
(マークの中や周辺に具体的な内容が描かれています)

絶対に行ってはいけないことを表わすマークです。



または



(分解修理の禁止)

必ず行っていただきたいことを表わすマークです。



または



(電源プラグをコンセントから抜くこと)

ご使用前  
安全のために必ずお守りください

## ⚠️ 危険

### ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。  
火災の原因になります。



ガソリン厳禁



## 警告

### スプレー缶厳禁

スプレー缶を温風の当たるところに放置しないでください。

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。



### 可燃性ガス使用厳禁

暖房機を使用している温室で、可燃性ガスが発生するもの(ベンジン、シンナー)、腐食性のあるスプレー等を使用しないでください。火災や故障の原因になります。



### 換気必要

換気せずに使用し続けしないでください。換気を行わないでいると花もちが悪くなったり病害虫の発生の原因となります。使用中は新鮮な空気を補給してください。温室内に換気口等がない場合には下表を目安に換気を行ってください。⑬⑭

換気方法：窓(スライド式)が縦90cmの場合

温室の広さ	開口の目安
ガラス1坪温室	幅1cmを2ヶ所以上開く <sup>※1</sup>
ガラス2坪温室	幅2cmを2ヶ所以上開く <sup>※1</sup>
ガラス3坪温室	幅3cmを2ヶ所以上開く <sup>※1</sup>

※1 向かい合った窓を開けると通気が良くなります。

### 温風吹出口をふさがないで

布やビニール、紙などで温風吹出口、燃焼・温風空気取入口をふさがないでください。布やビニール、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。



※2 その日の風向きによって異なることもありますので、使用を始めてから1週間位は換気に注意してください。

## 注意

### 1 設置

#### 植物・可燃物注意

暖房機の前面には植物や可燃物を置かないでください。火災が発生するおそれがあります。



#### 温室以外暖房禁止

園芸専用暖房機ですので、温室以外の暖房には絶対に使用しないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。



# 安全のために必ずお守りください

## ⚠ 注意

### 2 使用時

#### 異常停止に注意

暖房機は安全装置の作動や燃料切れなどにより停止する場合があります。定期的に暖房機の運転状態を確認してください。停止したまま放置すると植物に異常が生じるおそれがあります。



#### 移動に注意

運転中に暖房機を持ち運ばないでください。持ち運ぶときは火を消してカートリッジタンクを取り出し、傾けないように静かに運んでください。灯油がこぼれると火災の原因になります。



#### 異常時、使用禁止

二オイ、すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。異常燃焼のおそれがあります。13



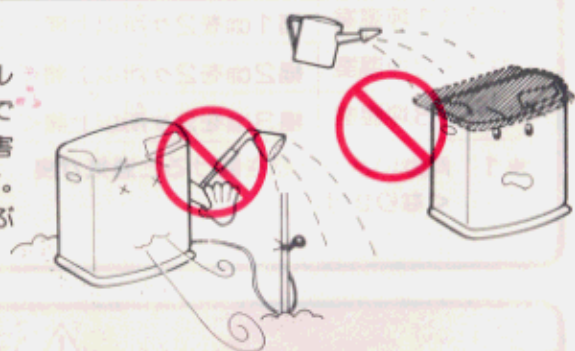
#### ファンフィルターは必ず使用

ファンフィルターを取り外した状態で使用しないでください。内部にほこりがたまり、異常燃焼の原因になります。



#### 温風、水かけ禁止

暖房機やルームサーモに水をかけたり、ルームサーモに直接温風をあてたりしないでください。室温の変化により、植物に損害を与えたり、漏電や火災の原因となります。暖房機には付属の防水カバーを天板にかぶせてください。



### 小さいお子様に特にご注意ください

#### 高温部に注意

燃焼中や消火直後は温風吹出口が高温になっています。手など触れないよう注意してください。やけどのおそれがあります。



#### 本体内に手や物を入れないで

温風吹出口や燃焼・温風空気取入口に手や物を入れないでください。けがややけどを負ったり、入れた物が火災の原因になります。



ご使用前 安全のために必ずお守りください



## ⚠️ 注意

### 3 給油時

#### 給油時消火

給油は、必ず消火してから行ってください。  
火災のおそれがあります。

消火してから給油して



#### 油漏れ確認

給油口口金を下にして油漏れがないことを確かめてください。口金を斜めに締めたりすると簡単に口金が外れて、火災のおそれがあります。



暖房機と給油タンクとの送油経路に油漏れがないことを確かめてください。ゴムホースをひっぱったりすると油漏れが生じ、火災の原因となります。



### 4 点検・手入れ・保管

#### ほこりの除去

ファンフィルターは週に1回以上必ず掃除してください。

ごみ、ほこりなどでフィルターがつかると、異常燃焼のおそれがあります。



#### 保管時の注意

長期間使用しないとき、または保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、灯油を抜いてください。傾けたり、横倒しの状態で保管しないでください。再使用时、火災のおそれがあります。



#### 分解修理の禁止

故障・破損したら使用しないでください。お客様個人で行う修理や改造は危険です。



#### 電源コードの扱いに注意

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードやプラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用を中止してください。感電、ショート、発火のおそれがあります。

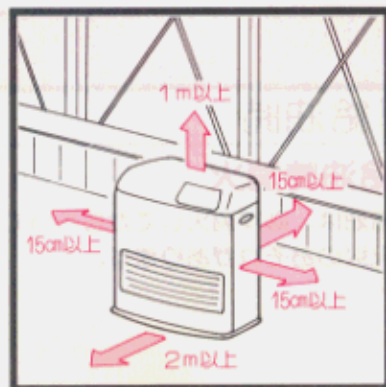


使用前 安全のために必ずお守りください

# 設置場所の選定

暖房機を安全に使用するためには、場所の選定が大切です。

暖房機と周囲の可燃物(植物・ハウス壁)との間には図に示す以上の距離をおとりください。



## ご注意いただきたいこと

### 次の場所では使用しないでください

○直射日光のあたる場所  
(機器の異常につながります)

○ほこりの多い場所

○燃えやすいもののそば

- 可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所
- 標高1,000m以上の高地
- 窓の凍結などによって、換気が十分行えない場所

○棚などの下  
(物が落ちると危険です)

○出入口など人の通る場所

○風が当たる場所

○凹凸があつたり、人が通るとゆれるような床  
(水平で丈夫な場所で使用してください)

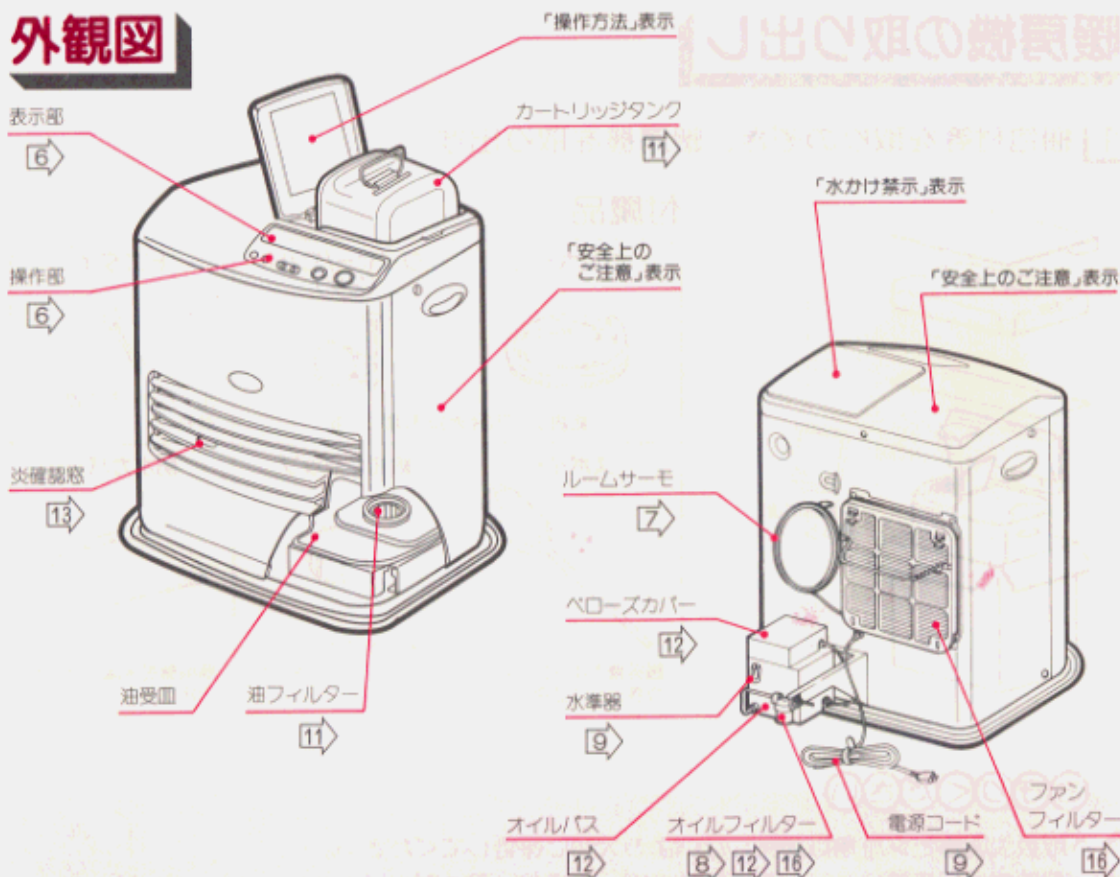
### お守りください

暖房機は植物から少し離れた場所に設置してください。温風が植物に直接あたると、植物に悪影響をおよぼすおそれがあります。

# 各部のなまえ

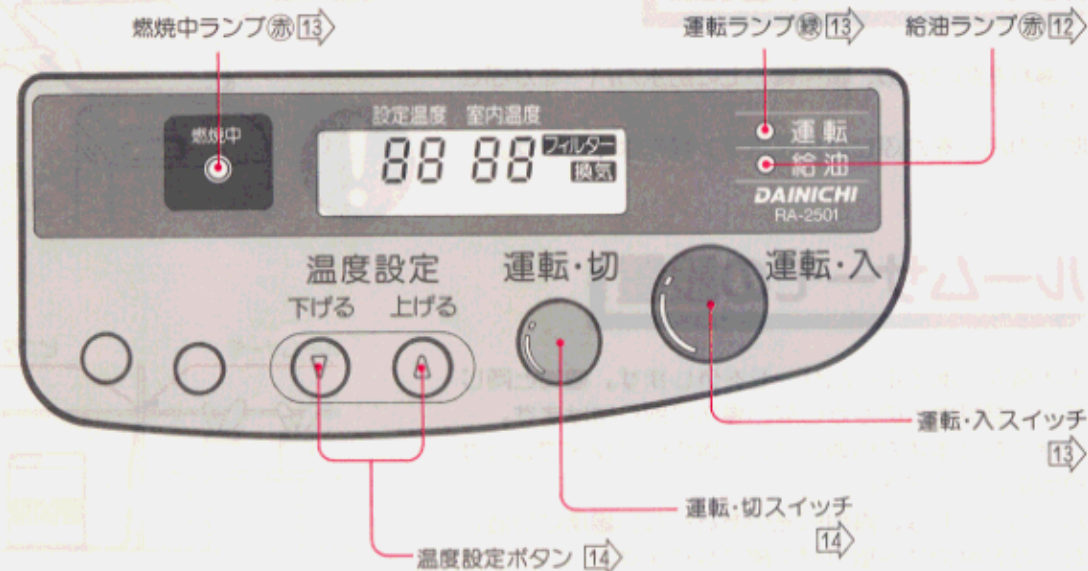
このマークの中の数字は詳しい説明のあるページです。

## 外觀図



## 操作部

※図は全部表示した状態です。使用上、全部表示されることはありません。



使用前 各部のなまえ



# 使用前の準備

## 暖房機の取り出し

1) 梱包材等を取りのぞき、暖房機を取り出す。



### 付属品

ゴムホース  給油タンク(別売)の設置に必要	ワイヤーバンド (2ヶ)  ルームサーモの固定に必要	ビニタイ  ルームサーモの固定に必要
スポイト  暖房機本体内の灯油の抜きとりに必要	給油キャップ  手を汚さずにカートリッジタンク口金を外せます。	防水カバー  暖房機を水漏れから守ります。

### お守りください

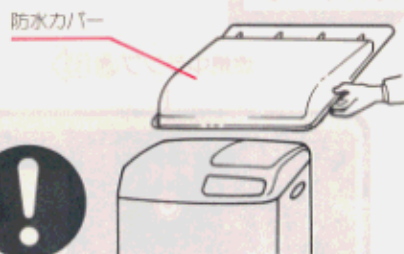
- 取扱説明書と保証書は紛失しないよう大切に保管してください。
- 梱包材は保管時に必要となりますので、捨てないでください。

使用前  
使用前の準備

## 防水カバーの設置

水漏れを防ぐため、暖房機の上に防水カバーをかぶせます。

防水カバーをかぶせたままボタン操作はできます。

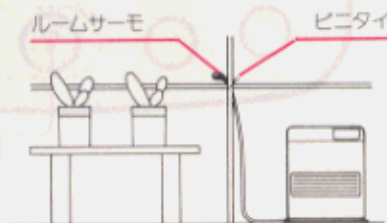


## ルームサーモの設置

本体背面にあるルームサーモを外します。植物と同じ高さで温風や水のかからない場所に取り付けます。

できるだけ本体から遠ざけ、付属のビニタイでしっかり固定してください。

ルームサーモは、直射日光のあたらない場所に設置した方が温度の読み取りが正確になります。

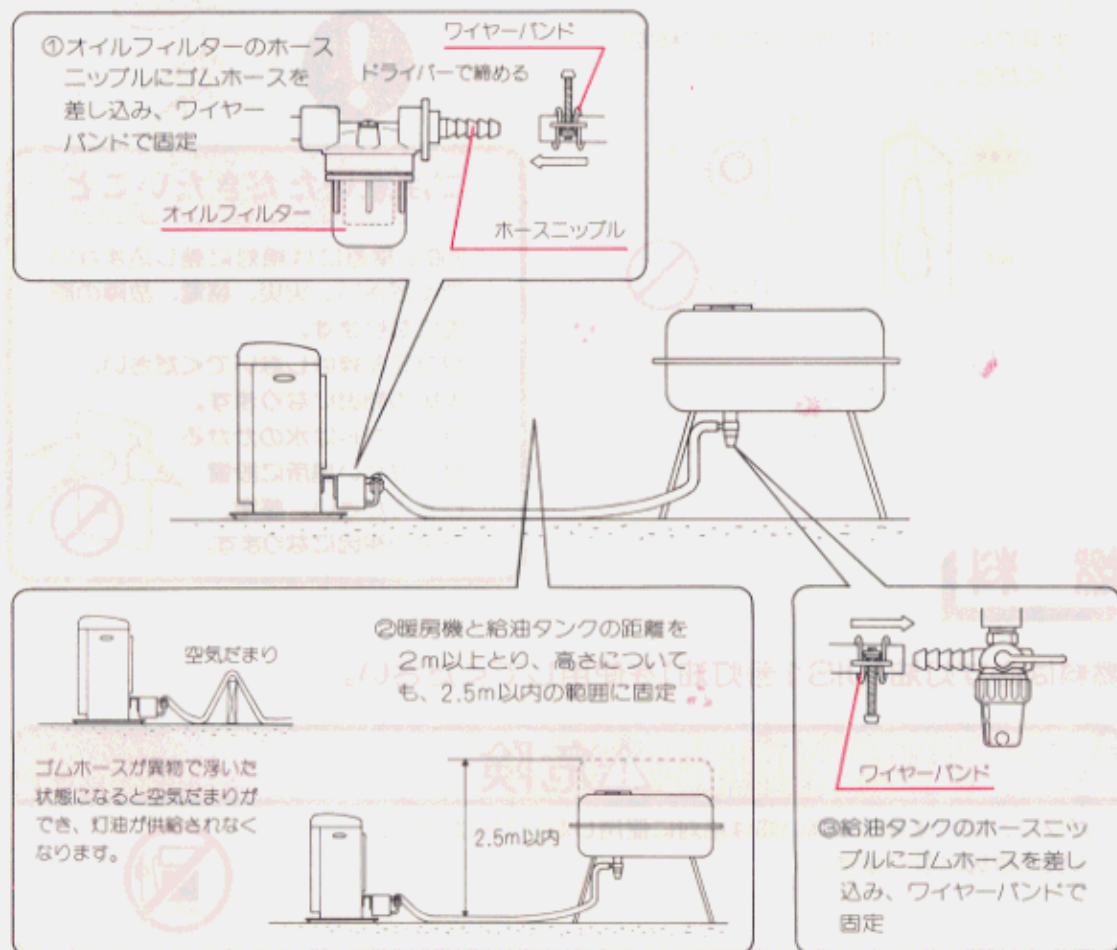




## 給油タンク(別売)の設置

暖房機はカートリッジタンクと給油タンク(別売)の2通りでご使用になれます。

給油タンクをご使用になる場合は、次の①～③の作業を行ってください。



使用前の準備

### ご注意くださいこと

○ 給油タンクとゴムホース、オイルフィルターとゴムホースなどの送油経路に油漏れのあるまま使用しないでください。火災の原因となります。



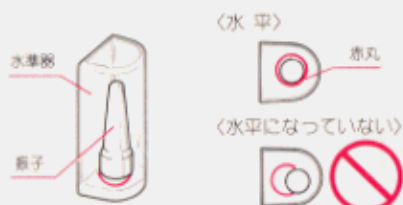
○ 暖房機、給油タンク、ゴムホースは直射日光が当たるところには設置しないでください。二オイなどの異常燃焼のおそれがあります。



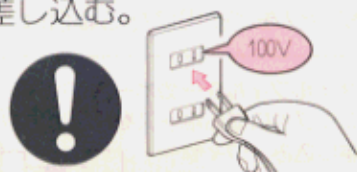
# 使用前の準備

## 運転開始前の準備と確認

- 1] 本体が水平かどうか確認する。  
水準器を上から見て、水平かどうか確認してください。  
水平でないときは、水平な場所に移動してください。



- 2] 電源プラグをコンセント(100V)に差し込む。



### ご注意いただきたいこと

- 200V 電源には絶対に差し込まないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災の原因になります。
- コンセントは水のかかる恐れがない場所に設置してください。感電、火災の原因になります。



## 燃料

燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

### ⚠危険

ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。  
火災の原因になります。



### 灯油とガソリンの見分け方

指先につけて、息を吹きかけてください。  
(火の気のないところで)

灯油の場合	ガソリンの場合

### お守りください

変質灯油、不純灯油、汚れた灯油、水の混じっている灯油などは、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

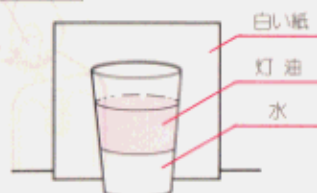


## 変質灯油とは

- 昨シーズンよりもち越したもの。
- 黄色味を帯びたり、すっぱいニオイのするもの。
- 高温の場所で長期間保管したもの。
- 日光の当たる場所で長期間保管したもの。

## 変質灯油の見分け方

水よりも少しでも色がついていたら変質灯油です。



## 保管のしかた

- 火気、雨水、ごみ、高温、直射日光を避けた場所に保管する。
- 容器のフタをしっかり締める。
- 容器は灯油専用のものを使用する。
- 色のついた容器を使用する。  
(白い容器は変質しやすくなります)

## 変質灯油や不純灯油を使用した場合の症状

- ニオイが強くなる。
- 黄色い炎が混じる。⑬
- 火力が上がらない。
- 消火しにくい。



## 不純灯油とは

- 灯油以外の油(ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油、灯油添加剤など)がほんの少しでも混入したもの。
- 水やごみがわずかでも混入したもの。



## 処置方法

- 灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内を洗ってからご使用ください。
- 着火・消火を10回程度くり返してください。  
(ややニオイがしますので、換気をよくして行ってください。)
- それでも直らない場合は修理が必要となります。お買い上げの販売店にご相談ください。⑭

## メモ

変質灯油、不純灯油が原因でサービスを依頼したときは、保証期間内でも有料となります。

# 使用前の準備

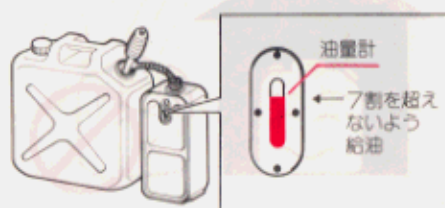
## 給油のしかた

### 【カートリッジタンクを使用する場合】

- 1) カートリッジタンクを取り出す。
- 2) タンク口金を外す。  
付属品の給油キャップを使用すれば、手を汚さずに口金を外すことができます。



- 3) 給油する。  
灯油をこぼさないように注意しながら、油量計の7割を超えないよう給油します。
- 4) タンク口金を確実に締める。  
給油キャップを外します。こぼれた灯油は完全に拭き取ってください。



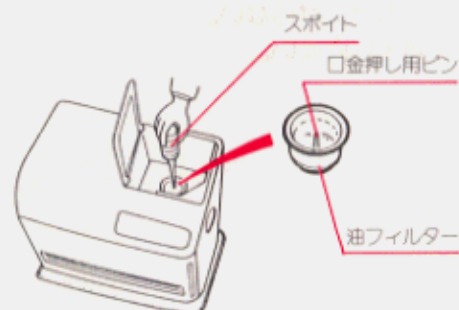
### ご注意いただきたいこと

- 4ページ『安全のために必ずお守りください』の「**③**給油時」をよく読み、注意して行ってください。
- 給油時、タンク口金をぶつけないよう取り扱いに注意してください。タンク口金が変形すると油漏れのおそれがあります。

- 5) カートリッジタンクをセットする。

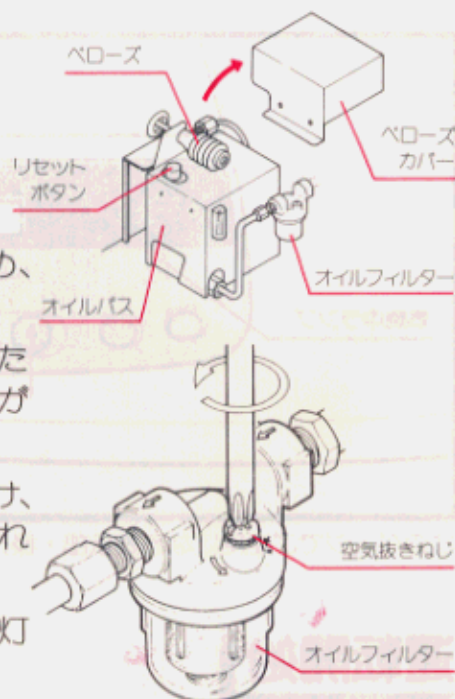
### 【給油タンク(別売)を使用する場合】

- 1) 給油タンク内に灯油を入れる。
- 2) 本体内のカートリッジタンクを抜き、付属のスポイトを使って油受皿にも灯油を入れる。  
油フィルターの口金押し用ピンがかくれるまで灯油を注いでください。(約500cc)





- 3] ペローズカバーを外す。
- 4] オイルパスのリセットボタンを押す。  
(右図参照)
- 5] 給油タンクのパルプを開く。
- 6] オイルフィルターの空気抜きねじをゆるめ、送油経路の空気を抜く。(右図参照)
- 7] オイルフィルターのカップ内に灯油を満たしてから、空気抜きねじを閉める。(灯油があふれたらよく拭きとってください。)
- 8] ペローズを2~3回押し込むと空気が抜け、暖房機内の油受皿へ給油が少しずつ行われます。
- 9] ペローズにペローズカバーをかぶせる。灯油の変質防止に効果を発揮します。

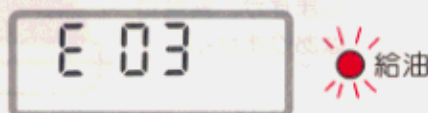
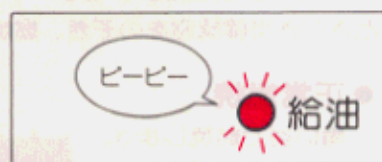


### メモ

カートリッジタンクは使用しない場合でも、暖房機内に入れておいても差しつかえありません。

## 給油の合図

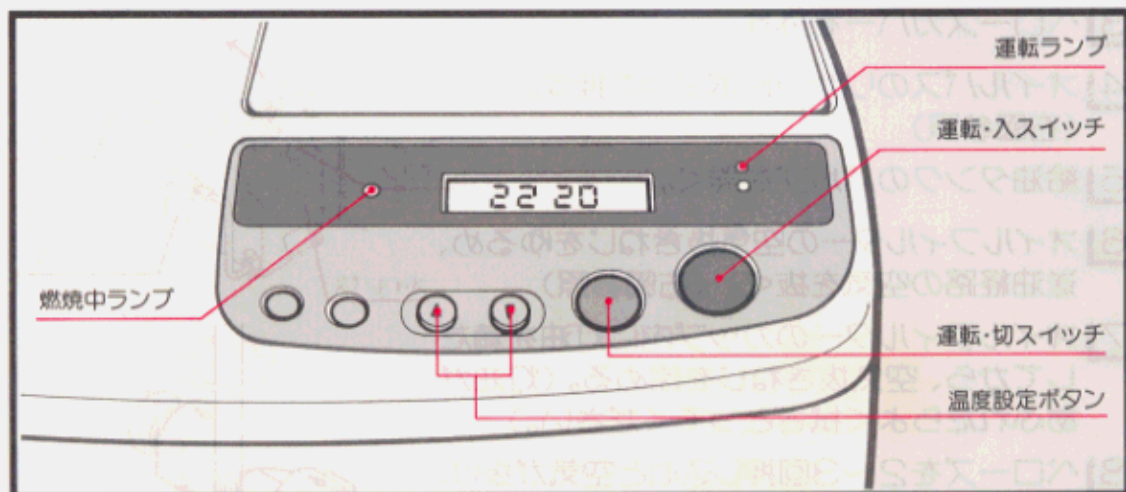
- 1] 灯油が残り少なくなってくると“ピーピー”と電子音が鳴ると共に給油ランプが点滅し、同時に火力が小さくなります。
- 2] そのまま使用し続けると約45分後に灯油がなくなり、E 03 を表示して自動的に消火します。
- 3] 給油し運転・入スイッチを押すと、運転を再開します。



### お守りください

給油タンクを空にした場合は、給油のしかたに従って給油を行ってください。送油経路に空気が入っていると燃焼途中で消火するおそれがあります。

# 使用方法



このページでご使用になる表示部・操作部のなまえ

## 運転開始

### 1) 運転・入スイッチを押す。(運転ランプ点灯)

約45秒後に着火します。  
燃焼中は燃焼中ランプが点灯します。

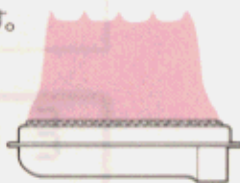


### 2) 炎の状態を確認する。

ときどき炎確認窓をのぞき、燃焼状態を確認してください。

#### ● 正常燃焼

青い炎で燃焼します。  
バーナの網が赤熱  
しますが、異常で  
はありません。



#### ● 異常燃焼

青い炎の中に常に黄  
色い炎が現れます。  
異常燃焼を起こし  
ている場合は処置  
を行ってください。



19

## お守りください

換気を行わないでいると温室内の空気がよどみ、花もちが悪くなったり、病害虫が発生しやすくなります。安全のため温室内の酸素が少なくなると不完全燃焼防止装置が働き、自動消火します。暖房機が運転を停止すると温室内の温度が下がり、植物に悪影響をおよぼすことが考えられますので、換気には十分ご注意ください。②



## 運転停止

- 1) 運転・切スイッチを押す。(すべてのランプが消灯)  
必ず火が消えたことを確認してください。



### お守りください

- 消火は必ず運転・切スイッチで行ってください。  
また、運転停止後2分間は電源プラグを抜かないでください。  
電源プラグを抜いて消火したり、消火後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因となります。  
(内部が過熱するのを防ぐため、ファンで冷却しているためです)

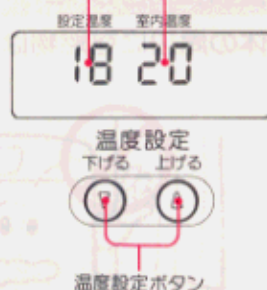
## 室温の調節

- 1) 温度設定上げる・下げるボタンを押す。  
室内温度表示をめやすに設定温度を調節してください。

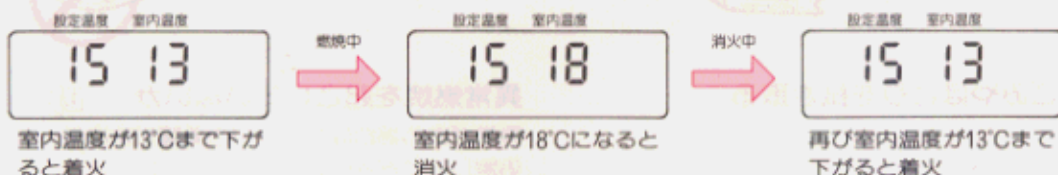
5℃～30℃の範囲で  
セットできます。

0℃～35℃まで  
表示します。

- 2) 運転中は室内温度が設定した温度より3℃高くなると消火し、設定した温度より2℃低くなると着火します。この状態をくり返します。  
(消火中も運転ランプは点灯しています)



例) 設定温度を15℃に合わせた場合



※ 本機は室内温度が33℃以上になると自動的に消火するしくみになっています。  
停電や、電源プラグを抜いた場合、設定温度は18℃に再セットされます。

### 設定温度のめやす

冬は夜間の最低温度を15℃ほど、日中は最高温度でも27℃ほどに調節すると、ほとんどの洋ランを栽培することができます。夜間の最低温度と日中の最高温度の差がありすぎますと植物に悪影響をあたえますので、日中27℃を超える場合は十分に換気を行ってください。

# 点検・手入れのしかた

定期的に次の点検・手入れを行ってください。

## ご注意いただきたいこと

点検・手入れを行うときは、次のことを必ず守ってください。



運転を停止する。  
本体が冷えてから行ってください。  
運転を停止しないと、火災ややけどのおそれがあります。



本体の汚れを拭き取る時、シンナー・アルコール類は使用しない。  
火災のおそれがあります。  
特に汚れのひどい部分は、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布で拭いてください。

## ご使用のたびに

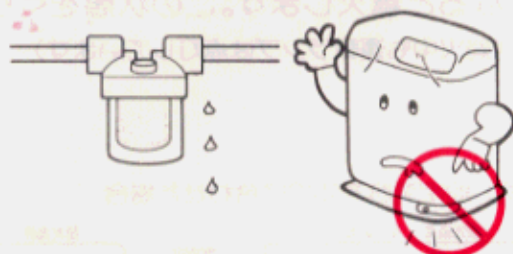
本体の周辺に可燃物はないか




ごみやほこりを拭き取る



油漏れ、油たまり、油にじみはないか  
異常がある場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。



異常燃焼を起こしていないか   
異常がある場合は19ページの処置方法に従って処置してください。

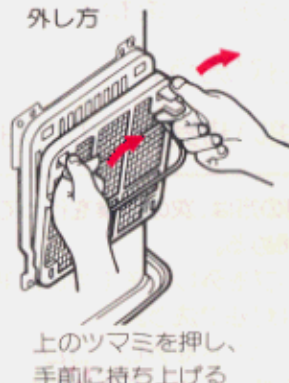


## 週に1回以上は

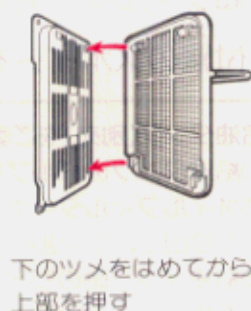
ファンフィルターの  
ほこりを取る



ファンフィルターの  
外し方



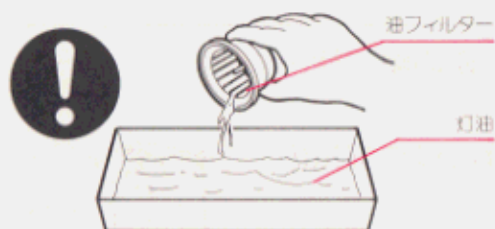
ファンフィルターの  
取りつけ方



## 1か月に1回以上は

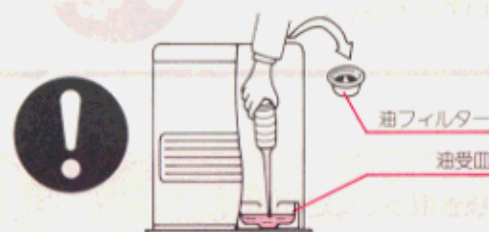
油フィルターがごみで目づまりして  
いないか

きれいな灯油ですすぎ洗いして、ごみ等を取  
りのぞいてください。



油受皿内にごみ、水等が入っていないか

付属のスポイトで油受皿内の水やごみを取り  
除き、乾いた布などできれいに拭き取って  
ください。点検後は「給油のしかた」に従い給  
油を行ってください。⑪



対震自動消火装置の点検

燃焼中にゆすると消火するか確認してくださ  
い。  
消火しない場合は修理が必要です。お買  
い上げの販売店にご相談ください。⑫



オイルフィルターにごみ、水、変質  
灯油が入っていないか

給油タンクのパルプを閉じてからカップを外  
し、フィルターを灯油で洗ってください。  
点検後は「給油のしかた」に従い給油を行っ  
てください。⑪



点検・手入れのしかた

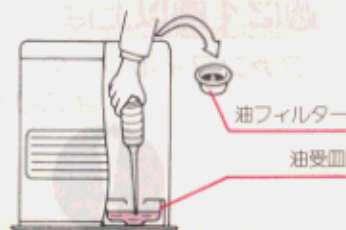
点検・その他



# 保管のしかた(長期間使用しない場合)

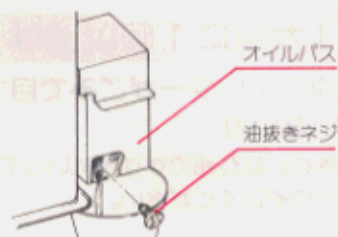
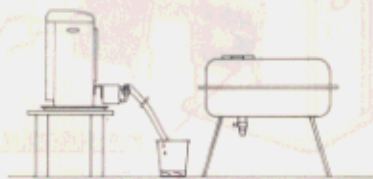
次の手順に従って暖房機を保管してください。

- 1 電源プラグをコンセントから抜いて電源コードを束ねる。
- 2 ルームサーモをとり外し、束ねる。
- 3 油フィルターを灯油で洗う。
- 4 付属のスポイトを使い油受皿内の灯油を抜く。



給油タンク(別売)をご使用の方は、次の作業を行ってください。(下図のような作業台を使って)

- ①給油タンクのパルブを閉める。
- ②オイルフィルターのカップを外し、その中の灯油をとり出し、フィルターは灯油で洗う。
- ③給油タンク側のワイヤーバンドを外し、ゴムホースを抜く。バケツなどを用意し、ホース内の灯油を抜き取る。
- ④オイルパスの油抜きネジをゆるめる。バケツなどを用意し、オイルパス内の灯油を抜き取る。
- ⑤油受皿内の灯油をスポイトで抜く。(上図参照)この際、オイルパス内の灯油を完全に抜き取るために、ペローズを2~3回押す。
- ⑥もう一方のワイヤーバンドをゆるめてゴムホースを外す。



- 5 本体のほこりを取りのぞき、開梱した逆の順で梱包する。
- 6 雨や直射日光の影響を受けにくい、ほこりや湿気の少ない所に水平にして保管する。



## ご注意いただきたいこと

- 暖房機を傾けたり、横倒しにしないでください。  
油漏れなどにより、再使用時、火災のおそれがあります。
- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグを抜いてください。



## お守りください

カートリッジタンク内と油受皿内の灯油は完全に抜き取ってください。  
灯油が残っていると変質し、故障の原因となります。

# 異常のお知らせと処置方法

## 修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前に一度ご確認ください。

### ○点火時

症 状	原 因
すぐ着火しない	<ul style="list-style-type: none"><li>○予熱時間が約45秒必要です。</li><li>○給油直後は灯油が送油経路に回るまで時間が掛かります。</li><li>○2、3回点火動作を繰り返してください。</li><li>○設定温度より室温が3℃以上高い。</li></ul>
「ジー」と音がする	点火するための放電音です。 異常ではありません。

### ○燃焼時・消火時

症 状	原 因
初めて使用するとき煙や二オイが出る	耐熱塗料が焼けるためです。 1時間ほどでおさまります。
炎の色がピンク、またはオレンジ色になる	超音波式の加湿器を使用すると起こります。水に含まれるカルシウム分による反応です。
炎の色がときどきチラチラと赤くなる	空気中のほこりが燃えるためです。
室温を高めに設定しても室温が上がらない	温室が広すぎる場合に起こります。
室温を低めに設定しても室温が下がらない	狭い温室でご使用のとき、あるいは気温が比較的高いときに起こります。
室内温度表示が温室の寒暖計と一致しない	室内温度表示は、ルームサーモが感知する温度を表していますので、寒暖計とは必ずしも一致しません。
燃焼開始直後または消火直後に「ピシピシ」という音がする	金属が熱により膨張・収縮するためです。 異常ではありません。

異常のお知らせと処置方法


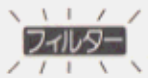

点検・その他



# 異常のお知らせと処置方法

## 異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のようなエラー表示や症状が現われたときは、適切な処置を行ってください。エラー時は運転ランプとブザーでお知らせします。エラーNo確認後、運転・入スイッチでブザー解除してください。

表示部	原因(安全装置)	処置方法
E 01	強い振動や衝撃を受けた (対震自動消火装置が作動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水平な場所かどうか確認する。</li> <li>○ 運転・入スイッチを押し直す。</li> </ul>
E 02	点火ミスしたり、油フィルター や油受皿内に水やごみがたまって いる (燃焼制御装置が作動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運転・入スイッチを押し直す。</li> <li>○ 付属のスポイトで油フィルターや油受皿内の水やごみを取りのぞく。油フィルターは水分をよく乾燥させる。 (下記「メモ」参照)</li> </ul>
E 03		
E 07	室温が異常に高温(40°C以上)になっ た (室温異常高温防止装置が作動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発熱量に適した温室なのか確認する。 (1坪~4坪用)</li> <li>○ ルームサーモが直射日光を受けていないか確認する。⑦</li> <li>○ 室温が下がったのち、 運転・入スイッチを押し直す。</li> </ul>
E 09 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 燃焼・温風空気取入口や温風吹出口が物でふさがれた</li> <li>○ ファンフィルターにほこりが たまった (過熱防止装置が作動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原因を取りのぞき、本体内部が充分冷えてから運転・入スイッチを押し直す。</li> <li>○ ファンフィルターの掃除をする。⑩</li> </ul>
		
E 13 	温室の換気が不十分 (不完全燃焼防止装置が作動)	換気を充分に行う。②
—	一時停電した、または電源プラグが抜けかかっている (停電安全装置が作動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電源プラグをコンセントに差し込む。</li> <li>○ 運転・入スイッチを押し直す。</li> </ul>

### メモ

#### 油フィルターのかわかし方



布などでよく水分を拭き取ったあと、日陰に置いて乾燥させる



症 状	原 因	処 置 方 法
給油ランプの 点滅が止まら ない	油フィルターや油受皿内に水や ごみがたまっている	付属のスポイトで油フィルターや油受皿内 の水やごみを取りのぞく。油フィルターは 水分をよく乾燥させる。 <sup>16</sup> <sup>19</sup>
	カートリッジタンク口金が変形 している	タンク口金を新しいものと交換する。
	給油タンクのパルプが閉じてい る	パルプを開く。
	オイルパス内の弁が閉じている	オイルパスのリセットボタンを押す。
	送油パイプ内に空気が入ってい る	送油パイプの配管をしっかりと締め直し、オ イルフィルターの空気を抜き、ペローズを 2～3回押す。 <sup>12</sup>
	灯油が残り少なくなった	給油する。 <sup>11</sup>
火力が上がら ない	変質灯油・不純灯油を使用した	○油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれい な灯油で洗う。 <sup>16</sup> ○着火・消火を10回程度くり返す。 (やや二オイがしますので、換気をよ くして行ってください。)
二オイが強い	灯油がなくなった	給油する。 <sup>11</sup>
	灯油がこぼれたり、漏れている	使用を中止し、お買い上げの販売店に連絡 する。 <sup>21</sup>
	変質灯油、不純灯油を使用した	油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれい な灯油で洗う。 <sup>16</sup>
異常燃焼を 起こす <sup>13</sup>	変質灯油、不純灯油を使用した	○油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれい な灯油で洗う。 <sup>16</sup> ○着火・消火を10回程度くり返す。 (やや二オイがしますので、換気をよ くして行ってください。)
	温室の換気が不十分	換気を充分に行う。
	ファンフィルターにほこりがた まった	ファンフィルターの掃除をする。 <sup>16</sup>

## ⚠注意

故障、破損したら使用しないで  
ください。  
お客様個人で行う修理や  
改造は危険です。



## ご注意ください


処置を取っても直らないときや、上記  
以外のエラー表示が出たときは故障が  
考えられますので、お買い上げの販売  
店にご相談ください。<sup>21</sup>  
故障したまま使用し続けると、予想し  
ない事故が発生するおそれがあります。

# アフターサービス

## アフターサービスの依頼

点検・修理が必要になった場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業所にご相談ください。

アフターサービスを受ける際は、次の事項をご連絡ください。

製品名：ダイニチ園芸専用暖房機  
形式の呼び：RA-2501  
お買い上げ日：保証書に記載  
症状：エラー表示等、できるだけ詳しく 

### ご注意いただきたいこと

修理等で暖房機を移動する場合は、必ず油受皿内の灯油を抜いてください。万一灯油がこぼれると火災の原因になります。

## 保証について

### 保証書

販売店で必要事項を記入してお渡ししますので、記入内容をお確かめの上、大切に保管してください。

### 保証期間

保証期間は1年間です。修理の際は保証書をご提示ください。なお、保証期間内でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

### 保証期間経過後は

販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理致します。

## 補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 本暖房機の補修用性能部品は、製造打切り後6年保有しています。

# 部品交換について

部品交換が必要な際は、お買い上げの販売店、または(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)または、技術講習会修了者(点検整備士)のいる販売店などにご依頼ください。

### ご注意いただきたいこと

暖房機の修理・部品交換は、お客様個人では絶対に行わないでください。けがややけどのおそれがあります。





# 定期点検のおすすめ

1シーズンに1回の定期点検をおすすめします。

## 愛情点検



長期間ご使用になりますと機器の点検が必要になります。  
点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。  
未然に事故を防止するため、シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店、または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL.03-3499-2928)〕で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）または技術講習会修了者（点検整備士）のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。（有料）

## 仕様

形式の呼び	RA-2501	
種類	気化式・強制通気形・強制対流形	
点火方式	連続放電点火	
使用燃料	灯油（JIS1号灯油）	
燃料消費量	最大	0.303L/h
	最小	0.072L/h
発熱量	最大	10,470kJ/h(2,500kcal/h)
	最小	2,470kJ/h (590kcal/h)
暖房出力	最大	2.91kW(2,500kcal/h)
	最小	0.69kW (590kcal/h)
油タンク容量	5.0L	
カートリッジによる 燃焼継続時間	大火力	16.5時間
	小火力	69.4時間
標準適室	1坪～4坪	
外形寸法	置台込	435mm×384mm×436mm
	高さ×幅×奥行	343mm×265mm
質量	約9.8kg	
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz	
定格消費電力	最大消費電力	310/310W(点火初期に短時間発生)
	燃焼時消費電力	119/119W(大火力時)
		69/ 69W(小火力時)
安全装置	不完全燃焼防止装置、停電安全装置、燃焼制御装置、対震自動消火装置、過熱防止装置	
その他の装置	室温異常高温防止装置	
付属品	スポイト、給油キャップ、ビニタイ、ゴムホース、ワイヤーバンド(2ヶ)、防水カバー	

上記の仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

仕様  
定期点検のおすすめ

点検・その他



# 別売部品のご注文について

次の別売部品を破損したり紛失した場合は、お買い上げの販売店にご注文ください。  
その際は形式名、別売部品名をはっきりとお伝えください。

## 〔別売部品〕



カートリッジタンク  
(タンク口金付)  
3,150円  
(本体価格3,000円)



タンク口金  
525円  
(本体価格500円)



油フィルター  
525円  
(本体価格500円)



ファンフィルター  
1,050円  
(本体価格1,000円)



給油キャップ  
262円  
(本体価格250円)



スポイト  
173円  
(本体価格165円)

価格は本暖房機の別売部品の価格です。  
他の機種はこの限りではありません。  
また、価格は予告なく変更することがあります。



## ダイニチ工業株式会社

〒950-1295 新潟市北田中780-6

ホームページ <http://www.dainichi-net.co.jp/>

東京営業所	〒101-0021 千代田区外神田2-13-7	ダイニチ神田ビル	☎03(3258)3841代
大阪営業所	〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-6-6		☎06(6330)1431代
仙台営業所	〒984-8651 仙台市若林区卸町3-1-15		☎022(235)8621代
新潟営業所	〒950-1295 新潟市北田中780-6		☎025(362)1140代
高崎営業所	〒370-0043 群馬県高崎市高関町345		☎027(328)0501代
宇都宮営業所	〒320-0838 宇都宮市吉野2-1-12		☎028(636)9411代
名古屋営業所	〒461-0040 名古屋市東区矢田1-3-33	第一生命ビル	☎052(721)6677代
広島営業所	〒731-0137 広島市安佐南区山本1-4-25		☎082(875)8851代
福岡営業所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-4-11	シティコート中陽	☎092(474)0731代

## ご不明な点に関するご相談

- 使用方法がよくわからない
- お手入れ方法がよくわからない
- 異常時の対処方法がわからない
- ご転居等で近くに修理してくれるお店がわからない

アフターサービスご相談窓口(通話料無料)

TEL 0120-468-110

FAX 0120-468-220

受付時間 (11月～1月) 9:00～19:00 (土は～17:00まで、日・祝日・年末年始は休み)  
(2月～10月) 9:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝日は休み)